

新字新加

8937

村上君とあそび

土師清二

七か

□村上君とは三十年に垂々の交わりです。わたしよりずつと若い村上君です。こちらが五十代で、村上君が三十代であつたころのおたがいと。六十代を三つ四つ超えている現在のわたしと、いよ／＼益々これからという村上君と。おのずから交わりも移り衰へてきて

いるように、わたしには感じられるのです。

□わたしは遊びが好きなのと、きれいな女のひとと時を過ごせる楽しさで、たまにおかけます。おかけた先で「村上先生が、このあいだお見えになりました。先生は見えるか」つておたずねになりました。いつでも、きつとおつしやるのですと聞きます。

□正直なところ、わたしなどのような老齡になり、存外あつかまし財といつたようなものを持たない者にとつて、芸者象がいてくれる

成り

26